

# 認定こども園 本町の見解は

答 幼保の良さを併せ持つ制度である



**問** 現在、幼児教育の無償化がなされているが、本町で1号認定、保育を必要としない方々、3歳児の受入枠が確保されていない課題について本町としてどのように考えているか。

**学校教育課長** 3歳児の1号認定の子どもたちの受入れについて、町として取組むべきと考えている。3歳児教育の実施に関する方針等について議論しており、新たなニーズ等を調査しながら受入れについて検討していきたい。

**問** 3歳児の受入れが出来ない状況は問題ではないか、そ

のような観点から本町の町立幼稚園は、認定こども園へ移行していくと考えていいか。

**学校教育課長** 現在町立幼稚園においては3歳児受入れについて議論しており、その中でいろいろな課題もでてくる。その課題解決を行いながら認定こども園に移行するかも併せて今後検討していく。

## 本町の防災教育を問う

**問** 幼稚園、小中学校において防災教育の実施状況はどうか。

**教育長** 幼稚園、小中学校においては火災や地震・津波を想定した避難訓練だけではな



金城 憲治 議員

く、社会科や道徳において自然災害や防災、事件・事故なども含めた学習を通して防災教育を行っている。

**問** 防災士、専門家などの講師を招いての出前講座などは行われているか。

**教育指導主事** 現時点では防災士の活用、専門家の活用は行っていない。消防署や警察署の職員といった専門職の活用は行っている。今後防災士の活用も含めて学校に助言する。

**問** 20名程度の生徒と保護者を募集して、学校で実際に体

験する防災キャンプができないか。

**教育指導主事** 学校では児童生徒数が多いこともあり厳しいが、県内の青少年施設において防災キャンプの体験活動を実施している。



南風原町子ども会防災まつり 新聞紙スリッパ作り

**問** 本町として防災キャンプを小中学生と大人の方々を対象に、黄金森や陸上競技場周辺を活用して行って欲しいが可能か。

**総務課長** 町の総合防災訓練の一つとして、実施に向けて調査研究していきたい。